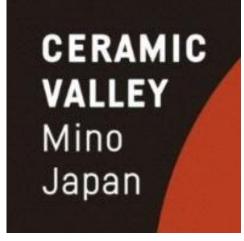
セラミックバレー・奇跡の土プロジェクト「クレイサミット~土からはじまる~」

セラミックバレー構想と進め方

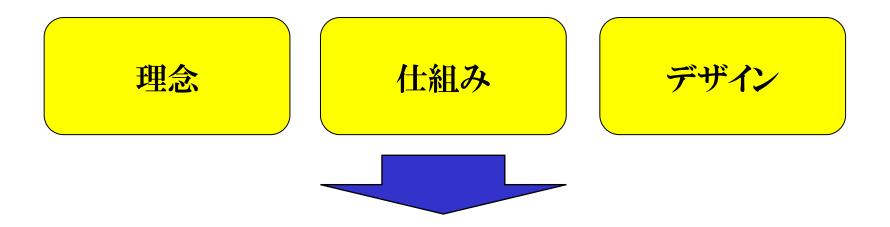


令和2年11月24日

株式会社井澤コーポレーション 代表取締役社長 井澤 秀哉

□セラミックバレー構想とは

地域をブランディングするための戦略

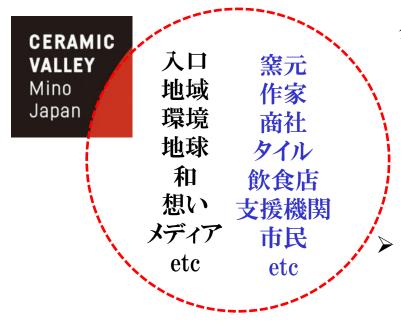


この3つをバランスよく表現

行動に戦略を持たせることにより成果が大きく変わる

□セラミックバレー構想と佐藤卓さんの想い

▶ セラミックバレー美濃構想とは美濃のやきものとその文化をリブランディングし産業・地域を 活性化する取り組み



クリエイティブ ディレクター 佐藤 卓 Sato Taku



- セラミックバレーのロゴの右下にある赤い形は、 大きな円の一部です。その目に見えない大きい 円が、地域、環境、地球、そこに暮らす人たちの 想いなど様々なモノやコトを意味しています。
- ▶ 「大切なものは目に見えない」(サン=テグジュペリ)

- ▶ 民間主導の同志的結合を目指す。(行政には側面サポートをお願いする)
- ▶ 美濃の地場産業であるやきものの価値をとらえ直し、多治見、土岐、瑞浪、可児に暮らすすべての人たちによる民間ボトムアップ型で新たな同志的結合組織を作り活動する3

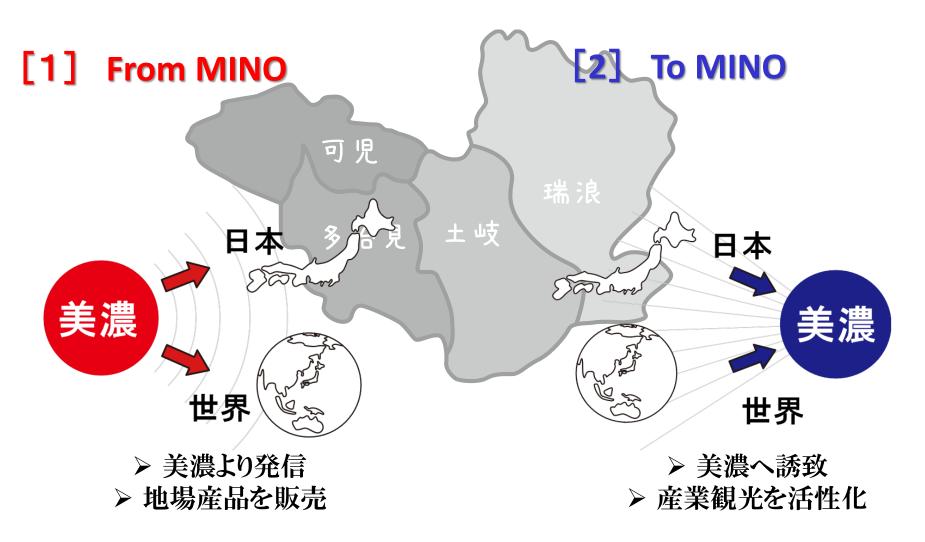
□セラミックバレー構想と佐藤卓さんの想い

- ①人への感謝
- ~作り手の働きやすい環境の整備・デザインや技術の創造性を大切にする~
- ②炎への感謝
- ~ 自然の負担が少ない、再生エネルギーを使った事業の促進~
- ③士への感謝
- ~数億年の年月で作られた限りある貴重な資源を大切にする。リサイクルやリユースの仕組み構築~

Respect for the MINO

この地に生きるすべての人と物に感謝「地域や環境への敬意」

- □ How to promote "Ceramic Valley MINO".
- ▶ 物販・観光の両面から美濃をリブランディング



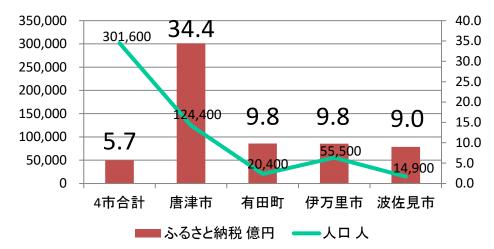


- ▶ やきものを通して日本のライフスタイル・ 文化を世界に広めよう!
- > 今一度、広い世界に挑戦しよう!



【展示会】

新商品→新プロモーション デザイン・ライフスタイルの提案へ





【ふるさと納税】

美濃焼と組合わせて差別化 日本酒+酒器、飛騨牛+陶板、うなぎ+丼・・・





【イベント】

JAPAN TRADITIONAL CRAFT WEEK、東京蚤の市・・・ 衝動買いを誘うイベント 6





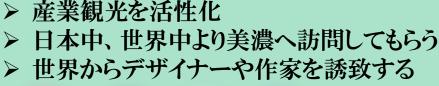
【統一美濃焼祭り】

陶器まつり、茶碗まつり、市之倉、商店街…一体化して一大イベントに!



【民泊・窯泊】 5.市海地等の古早家

中心市街地等の古民家を 横型・分散型ホテルとして 整備



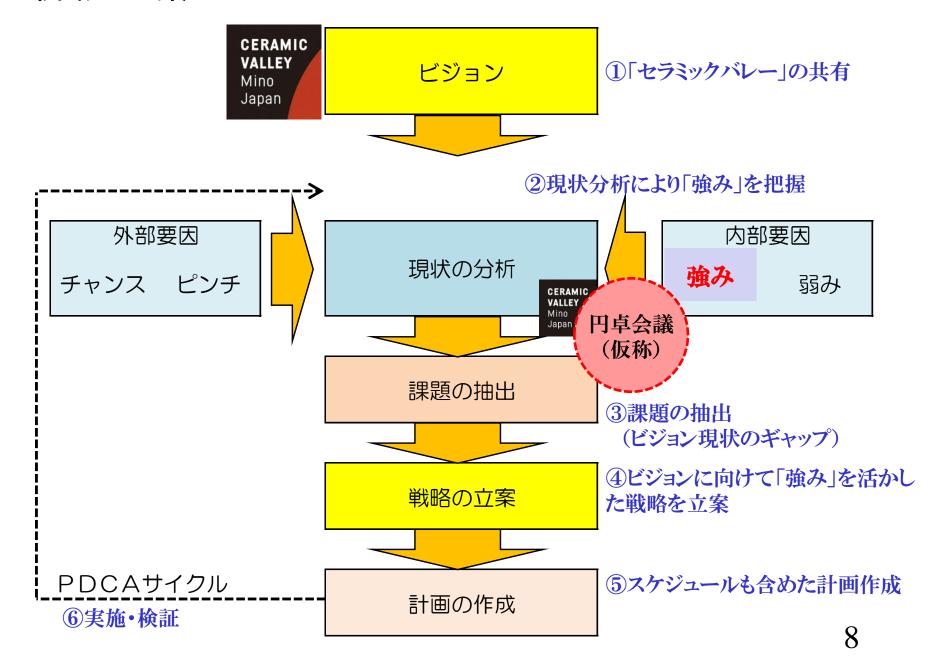




【器と食のイベント】

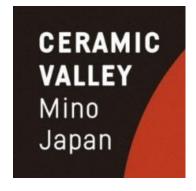
セラミックバレークラフトキャラバン(仮称) 瑞浪市「土」→土岐市「火」→多治見市「水」をテー マとした総合イベント ▶ 土岐市、瑞浪市の陶器まつりとも協力し合って、日本最大の「やきものまつり」を目指す!

□戦略の立案プロセス



□Ceramic Valley 美濃の「強み」

- 500万年前から始まった東海湖のストーリー
- 1300年の美濃焼の歴史
- 窯業原料・釉薬・加飾技法の豊富さ
- 作家・窯元(器・タイル)の多彩さ
- 美味しい飲食店の多さ
- 場所がほぼ日本の中心にある



この素晴らしい環境こそが美濃の最大の強み

□Ceramic Valley 美濃に「あるべきソフト&ハード」



【作家&デザイナー工房】 陶芸作家とセラミックデザ イナーが集まる作陶エリア



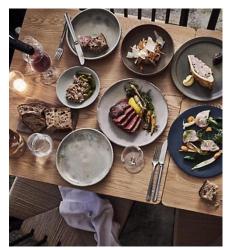
【ギャラリー】 地元作家の展示販売 をするギャラリー



【学びの体験】 陶芸教室と料理教室で 構成する学び体験エリア



【空間演出】 オブジェやタイルなど 使いインスタレーション



【飲食店コラボレーション】

情報による美味しさをテーマ に食材と器の関係を訴求する 場を作る



【グローサラント】

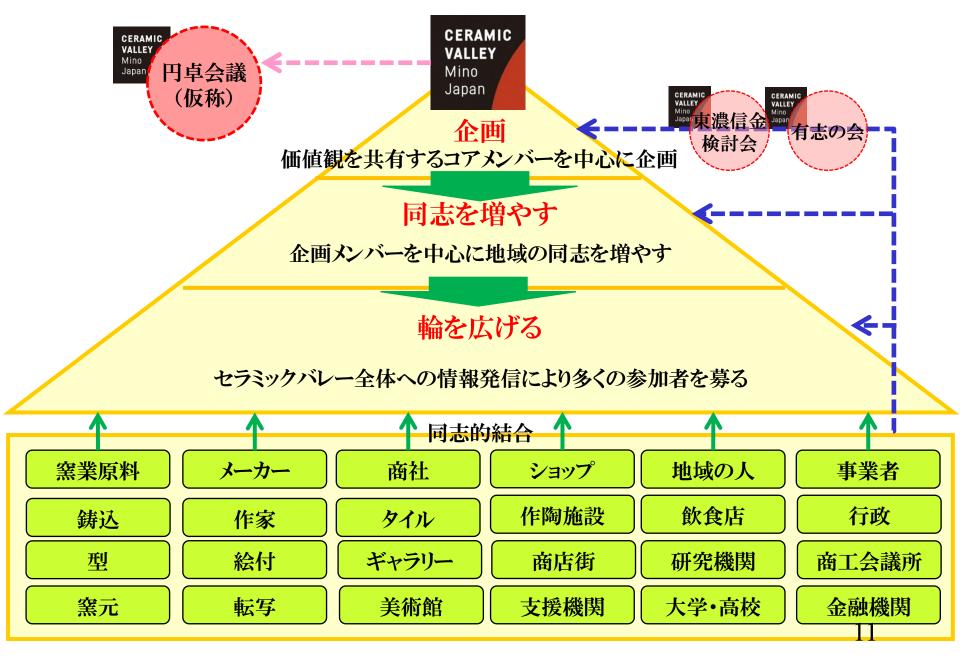
地域の美味しい食材を販売するエリアと、その食材を調理して 食べられるエリア

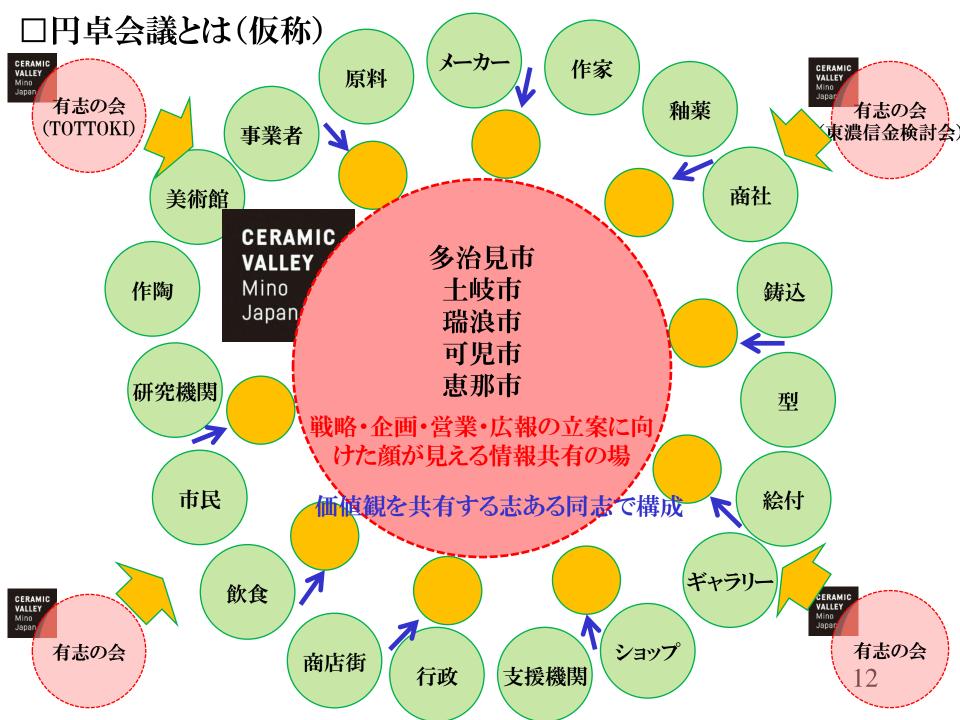


【アルベルゴ・デフューゾ】

多治見市内の古民家を民泊と して整備し、横型&分散型ホ テルとして整備

□セラミックバレー構想に向けた展開イメージ





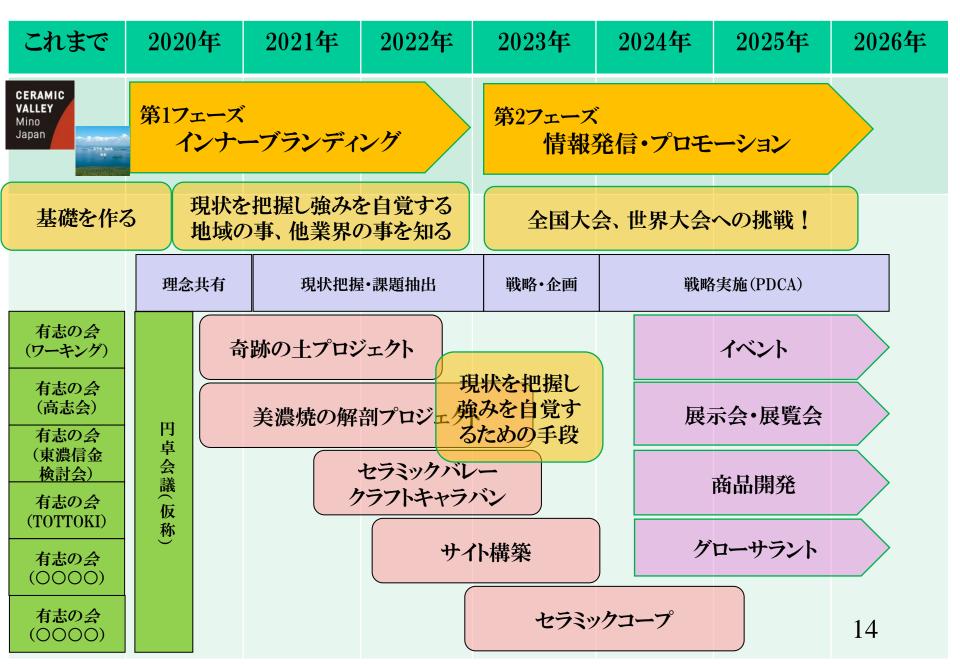
□体制構築

	戦略	企画	営業	広報	事務
概要	▶「セラミックバレー構想」に向けた全体戦略の立案	▶「セラミックバ レー」を旗印とし た様々なプロジェ クトを企画	▶地域の人々への 説明・説得▶プロジェクトの 実行	⇒地域の人々への PR⇒国内へのPR⇒海外へのPR	各プロジェクト の情報収集、整 理、共有、発信各種契約、補助 金、クラウド ファンディング 等の受け皿
メンバー	▶佐藤卓 (アドバ イザー)▶有志	▶美濃焼の解剖(有志)→奇跡の土(有志)	▶有志	▶有志	▶有志
備考	▶セラミックバ レー研究会	▶ 高志会▶ TOTTOK I▶ 東濃信金検討会▶ ソギクラ			▶セラミックパー クMINO (ロゴ)▶行政

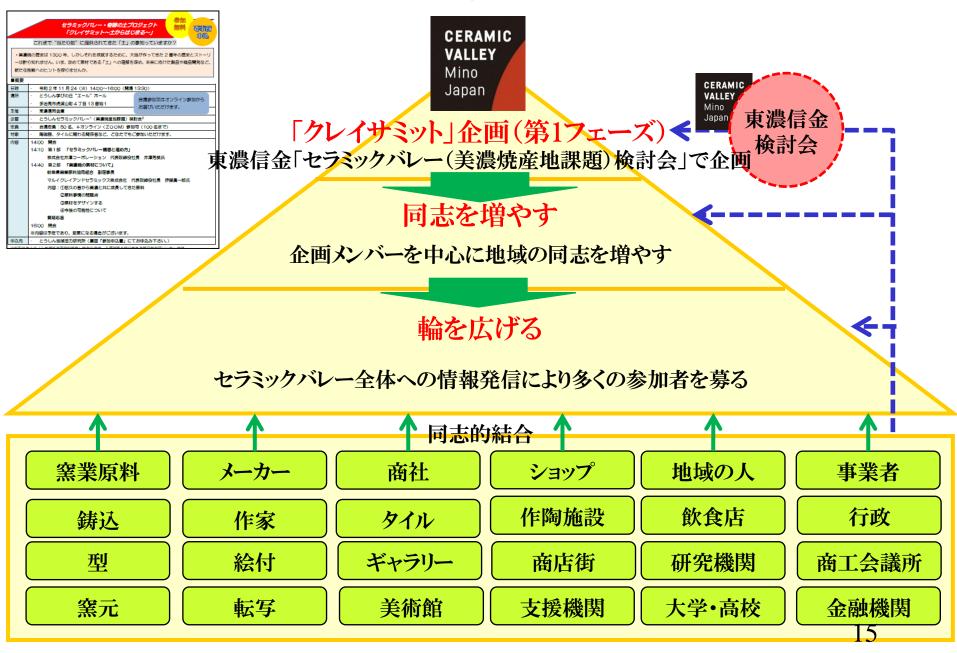


- > 各部門の運営をサポート、情報共有
- ▶ 行政、支援機関、金融機関…

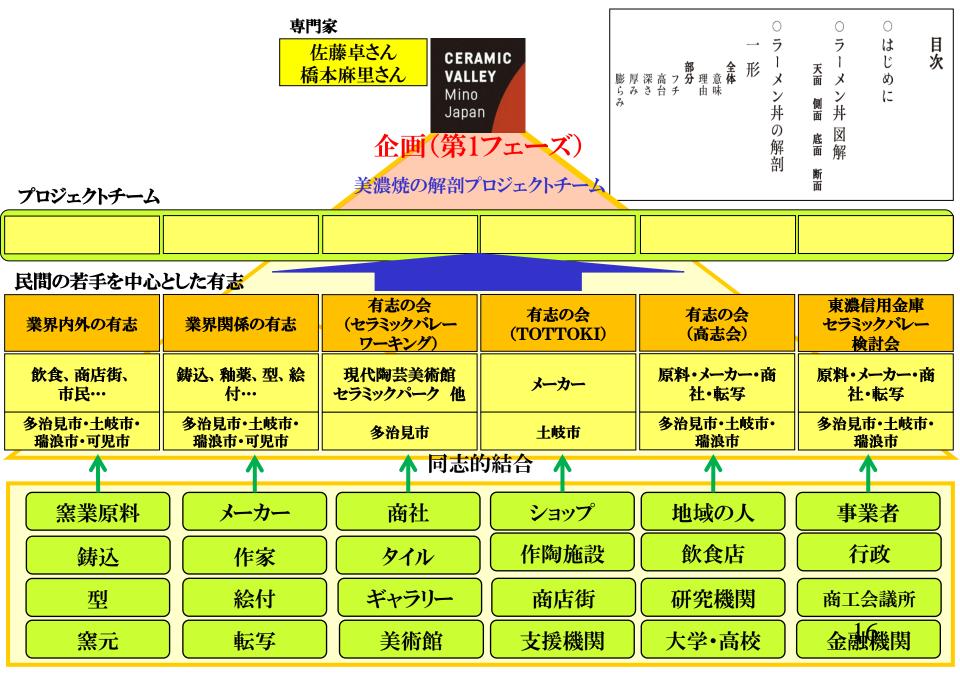
□スケジュール(イメージ)



□「奇跡の土プロジェクト」の進め方(案)



□例えば、「美濃焼の解剖プロジェクト」の進め方(案)



□今すぐ出来るセラミックバレー構想の関わり方

1. 知る

- ✓ 地域の資産を再認識する
- ✓ 地域や業界の現状を把握する
- ✓ 個人のスキルアップする(歴史・専門知識・接遇など)

2. 集める

✓ 情報共有の場を作る(円卓会議・LINEグループ)

3. 企てる

✓ 場に集まり、出来る範囲で小さなプロジェクトを企画立案する

4. 伝える

- ✓ SNSによる情報発信とシェア活動(#セラミックバレー)
- ✓ 地場の人へのセラミックバレー構想(戦略)の説明
- ✓ 小さいイベントの実施
- ✓ 今までのイベントにこの旗印を掲げる

5. 支える

- ✓ ふるさと納税商品の開発と提供
- ✓ セラミックバレーの中でのふるさと納税の活用